

日本におけるストリートダンス文化の発展に関する研究

A study of development of street dance culture in Japan

1K05B096

指導教員

主査 友添秀則先生

小山 綾香

副査 杉山千鶴先生

【研究の動機】

私は、小学 2 年時から高校 3 年時までモダンバレエやモダンダンスを行ってきた。そして大学入学と同時に「なんとなくカッコいい」という思いから、長い間憧れを抱いていたストリートダンスを始めた。ストリートダンスを始める以前、ストリートダンスは、「ただの遊び程度で軽々しい」「不良」「近寄りたくない」という負のイメージが大きかった。

現在、ストリートダンスを始めて 4 年が経過するが、各ジャンル数々の動きの起源などの歴史があることを知った。その歴史を知ることは、それまでのストリートダンスに対する浅はかな考えを払拭し、真摯に取り組むきっかけとなった。さらに現在日本において、ストリートダンスは発展の一途をたどっている。テレビで多くのダンサーが起用されたり、ストリートダンスイベントも全国各地で開催されたりと、盛り上がりをみせている。日本国内でどのような歴史があって現在のようなストリートダンスシーンが成立しているのか、非常に興味があった。

しかし、日本の一般の社会では、私が当初ストリートダンスに対して持っていたイメージと同様の固定概念があるように考えられる。海外発祥のストリートダンス文化を、日本国内でさらに発展させるには今後どのような姿勢が必要なのかを考察したい。

【研究の目的】

ストリートダンス発祥の地である、アメリカにおけるストリートダンス文化の歴史、今日ストリートダンスの中でもメジャーな各スタイルの歴史、日本におけるストリートダンス文化の歴史を明らかにす

る。

また日本のストリートダンスの現状を考察し、その中にある問題点を明らかにする。そこから、日本におけるストリートダンス文化を発展させ、真の文化として根付かせるために必要な姿勢を考察する。

【研究の方法】

書籍や雑誌、インターネット資料を参考とした研究を中心とする。また、現役ストリートダンサーへのインタビューを行い、現状や課題点を研究する。

【各章の概要】

第 1 章 ストリートダンスの歴史

アメリカにおける黒人ダンスから、ストリートダンスそのものの起源を明らかにする。そして現在ストリートダンスの中でもメジャーである、ロッキング、ポッピング、ブレイキング、ニュースクールヒップホップ、ハウスの、起源や伝播の過程を述べる。また、それらの動きや技の由来等を、社会的背景を含めて説明する。

第 2 章 日本におけるストリートダンス文化の歴史

1960 年代から 1990 年代までのストリートダンス文化の歴史を述べる。日本のストリートダンス文化は、「踊り場」から始まった。米軍基地の黒人米兵が踊り場に通り始めたことで、日本にソウルミュージックが広がった。その後、ラジオ、テレビ、映画等により、ストリートダンスが広く知れ渡った。アメリカから移入された文化であるため、アメリカでの出来事等を並列して、伝播の過程を説明す

る。

第3章 日本におけるストリートダンス文化の現在

2000 年以降のストリートダンス文化の現在を述べる。近年大規模なコンテストやバトルが開催されたり、地方自治体の理解を得て地域ごとにイベントが開催されたりしている。一方で、ストリートダンサーのマナーやモラルの低下が目立ち、活動場所が使用禁止になったり、ダンサーの社会的地位の低さなどが問題となっている。現役ストリー

トダンサーへのインタビューを含め、現状のプラス面とマイナス面を考察する。

結章 日本におけるストリートダンス文化の未来

本章では第1章から第3章までの総括を行い、第3章で挙げた問題点の改善策を考察する。そして、今後日本において、ストリートダンスが真の文化として根付くために必要な姿勢を、現役ストリートダンサーへのインタビューと自らの視点で考察する。